

今後の自動車アセスメント事業について

1. 背景

提供する自動車安全情報の充実を図るため試験項目を増やしてきたところであるが、自動車アセスメント事業費は年々削減されており、今後も、更なる予算の縮小が避けられない状況にある。

加えて、予防安全技術の評価を導入するべく検討を開始したところであり、現在の体制のままでは自動車アセスメント事業を維持・運営することができなくなる。

なお、現在の予算のままでは、平成25年度の試験車は11車種となる見込みである。

2. 事業を維持するための方策の検討

➤ 自動車アセスメント事業費の範囲内で試験を実施するための方策を検討する。

✓ 衝突試験の試験台数の見直し

✓ 衝突試験の試験項目の見直し 等

上記を実行した場合のカバー率の低下や導入したばかりの新・安全性能総合評価の継続の要否等を考慮しながら、対応策を検討する必要がある。

➤ アセスメント事業費以外の経費負担による試験実施の可能性を検討する。

✓ 自動車メーカーの負担による試験実施の可否 等

3. 検討方法

➤ 事務局及び関係団体等にて方策を検討し、自動車アセスメント評価検討会に諮ることとする。

自動車アセスメントの歴史及びロードマップ(案)

